

Collaborative Research :
Study of Arms and Armor in Middle-Period Tumuli :
An Initial Research Based on Artifacts from the Marozuka Tomb

2012

[共同研究]

マロ塚古墳出土品を中心にした 古墳時代中期武器武具の研究

杉井 健・上野祥史編



【第一部】共同研究の目的と経過

【第二部】熊本県マロ塚古墳出土遺物の研究

【第三部】大阪府七観古墳1913年出土遺物の研究

【第四部】考 察

第一章 帯金式甲冑の製作技術 古谷 毅

第二章 熊本地域出土鋌留短甲の検討 西嶋剛広

第三章 東アジアにおける眉庇付冑の系譜 橋本達也

第四章 小札鋌留衝角付冑の変遷とその意義 鈴木一有

第五章 線刻鉄鏃の系譜 鈴木一有

第六章 帯金式甲冑と鏡の副葬 上野祥史

第七章 菊池川流域の古墳 高木恭二

第八章 マロ塚古墳出現の背景 杉井 健

【第五部】古墳時代甲冑研究の現状

【第六部】総 括

国立歴史民俗博物館 研究報告

第173集

平成24年3月

Bulletin of
the National Museum
of Japanese History

国立歴史民俗博物館
研究報告
第173集

Collaborative Research:

Study of Arms and Armor in Middle-
Period Tumuli :

An Initial Research Based on Artifacts
from the Marozuka Tomb

Edited by SUGII Takeshi
and UENO Yoshifumi

[共同研究]

マロ塚古墳出土品を中心にした
古墳時代中期武器武具の研究

杉井 健・上野祥史 編

例 言

1. 本書は、国立歴史民俗博物館による個別共同研究「マロ塚古墳出土品を中心にした古墳時代中期武器武器の研究」(2004年度～2007年度、研究代表者 杉井健)の研究成果報告書である。
2. 本書は、6部構成をとる。第1部では研究の目的と経過を、第2部ではマロ塚古墳出土遺物、第3部では大阪府七観古墳1913年出土遺物に関する研究成果を、第4部では第2・3部の成果をふまえて行われた個別研究の成果を、第5部では今後の古墳時代甲冑研究に資することを目的に中期甲冑一覧および甲冑研究文献一覧を示し、第6部で以上の内容を総括した。
3. 本共同研究を実施するにあたっては、次の諸機関、諸氏からさまざまなご援助を賜った。記して感謝の意を表したい。

(日本国内)

【機関】 岩戸山歴史資料館 大阪城天守閣 九州歴史資料館 京都大学総合博物館 熊本市立熊本博物館 熊本大学文学部考古学研究室 國學院大學考古学資料館 相良村教育委員会 調布市教育委員会 東京国立博物館 西合志町郷土資料館 人吉市教育委員会 吉井町立歴史民俗資料館

【個人】 赤崎敏男 穴沢啄光 石村智 内川隆志 馬田弘稔 浦田信智 江島尚子 大谷晃二 児玉真一 宗文子 谷豊信 鶴嶋俊彦 出合宏光 十時俊作 中村博司 比佐陽一郎 美濃口紀子 吉村和昭

(海外：大韓民国)

【機関】 国立金海博物館 慶尚大學校博物館 慶星大學校博物館 釜山市立福泉博物館 釜山大學校人文大學考古學科 釜慶大學校博物館

【個人】 安星姫 安在皓 李尚律 任鶴鐘 李陽洙 金宰佑 金正完 金斗喆 権貴香 申敬澈 張相甲 趙榮濟 全玉年 黄喆周 裴眞晟 洪潛植 柳昌煥

(海外：中華人民共和国)

【機関】 秦始皇兵馬俑博物館 陝西省考古研究所 中国社会科学院考古研究所 中国社会科学院考古研究所西安研究室 朝陽市博物館 北京市大葆台西漢墓博物館 遼寧省文物考古研究所 遼寧省博物館

【個人】 王巍 尚曉波 張衛星 張仲立 段清波 田立坤 白岩 孟繁寧 李毓芳 李新全 劉慶柱 劉振東

4. 図20に使用した写真は、熊本日日新聞社から提供を受けたものである。図17および図32の新聞記事の掲載にあたっては、熊本日日新聞社から許可を得た。また、図34の掲載には人吉市教育長の許可を得た。
 5. 図版掲載写真に関して、マロ塚関係資料及び七観古墳関係資料(1913年出土資料)とも、遺物写真は勝田徹(国立歴史民俗博物館管理部博物館事業課)が撮影した。X線画像は、マロ塚関係資料に関しては永嶋正春が撮影した。七観古墳関係資料(1913年出土資料)に関しては大阪市文化財協会(現大阪市文化財研究所)が撮影したものの提供を受けた。
 6. 本書の編集は、共同研究メンバーの協力のもと、杉井健と上野祥史が担当した。執筆分担は、目次および各文末に示した。
-

国立歴史民俗博物館研究報告 第173集
 [共同研究] マロ塚古墳出土品を中心にした古墳時代中期武器武具の研究

目次

巻頭図版

例言

第1部 共同研究の目的と経過	1
第1章 研究目的	杉井 健.....3
第2章 研究組織	杉井 健.....5
第3章 研究経過	杉井 健.....7
第1節 共同研究発足以前	7
第2節 共同研究発足以後	8
第2部 熊本県マロ塚古墳出土遺物の研究	17
第1章 発見・収蔵の経緯および出土品の種類と数	杉井 健.....19
第1節 肥後マロ塚古墳出土品の発見・収蔵の経緯	19
第2節 肥後マロ塚古墳出土品の種類と数	21
第2章 マロ塚古墳の立地環境と比定.....	23
第1節 熊本県菊池川流域の環境	中原幹彦.....23
1 地理的環境	23
(1) 熊本県の地理的環境	23
(2) 菊池川流域の地理的環境	25
(3) 合志川流域の地理的環境	26
2 歴史的環境	27
(1) 菊池川流域の歴史的環境	27
(2) 合志川流域の歴史的環境	34
(3) 小野川、坪井川流域の歴史的環境	39
(4) マロ塚古墳周辺の歴史的環境形成の背景	41
(5) 小 結	51
第2節 マロ塚古墳の探索	52
1 従前の説	中原幹彦.....52
2 乙益重隆資料の調査	中原幹彦.....53
(1) 吉村和昭氏への手紙	53
(2) 東京での調査	58
(3) 人吉市での調査	58
3 聞き取り調査	59
(1) 井上兼利氏からの聞き取り	杉井 健.....59
(2) 植木町古閑の方々からの聞き取り	中原幹彦.....60
(3) その他の方々からの聞き取り	中原幹彦.....60
(4) 肥後考古学会関連	中原幹彦.....61

4 小 結	中原幹彦	61
第3節 高熊2号墳の測量調査	杉井 健	61
1 高熊2号墳の位置		62
2 高熊2号墳の現状		62
3 小 結		65
第4節 マロ塚古墳所在地に関する現状での認識	杉井 健	65
第3章 マロ塚古墳出土遺物の考古学的分析		69
第1節 名 称		69
1 甲冑の部位名称について	橋本達也	69
2 鍛造製品の製作工程・技術・技法とその名称について	古谷 毅	73
(1) 製作技術と製作工程および施工部位—観察項目の整理—		73
(2) 技術群の特質と分析項目の相互関係		74
(3) 製作段階と技術群—施工段階と名称—		78
第2節 武 具		82
1 短 甲	西嶋剛広	82
(1) 概 要		82
(2) 各部の観察		84
(3) 製作加工技術等		94
(4) 小 結		96
2 眉庇付冑		96
1. 1号眉庇付冑	橋本達也	96
(1) 概 要		96
(2) 各部の観察		98
(3) 製作加工技術等		106
(4) 組立工程の復元		108
(5) 小 結		109
2. 1号鍔	杉井 健	110
(1) 概 要		110
(2) 各部の観察		111
(3) 製作加工技術等		121
(4) 小 結		121
3. 2号眉庇付冑	橋本達也	122
(1) 概 要		122
(2) 各部の観察		123
(3) 製作加工技術等		128
(4) 組立工程の復元		129
(5) 小 結		130
4. 2号鍔	杉井 健	131
(1) 概 要		131
(2) 各部の観察		132
(3) 製作加工技術等		137
(4) 小 結		137

3	衝角付冑	鈴木一有	138
	(1) 概要		138
	(2) 各部の観察		139
	(3) 製作加工技術等		144
	(4) 組立工程の復元		145
	(5) 小 結		148
4	頸 甲		148
1.	頸甲の部位名称と基本計測部位	杉井 健	148
	(1) 部位名称		149
	(2) 基本計測部位		150
2.	1号頸甲	上野祥史・古谷 毅	152
	(1) 概要		152
	(2) 各部の観察		153
	(3) 製作加工技術等		158
	(4) 小 結		158
3.	2号頸甲	古谷 毅	159
	(1) 概要		159
	(2) 各部の観察		163
	(3) 製作加工技術等		166
	(4) 小 結		166
4.	3号頸甲	杉井 健	167
	(1) 概要		167
	(2) 各部の観察		172
	(3) 製作加工技術等		176
	(4) 小 結		177
5	肩 甲	上野祥史	178
	(1) 概要		178
	(2) 各部の観察		180
	(3) 製作加工技術等		181
	(4) 頸甲との対応関係		181
	(5) 小 結		182
第3節	武器		183
1	鉄刀・鉄剣	鈴木一有	183
	(1) 概要		183
	(2) 各個体の観察		186
	(3) 小 結		187
2	鉄 鉾	鈴木一有	187
	(1) 概要		187
	(2) 各個体の観察		188
	(3) 小 結		189
3	鉄 鍬	鈴木一有	189
	(1) 概要		189

(2) 長頸鏃の観察	190
(3) 平根鏃の観察	196
(4) 製作工程の復元	197
(5) 小 結	199
第4節 貝製品	鈴木一有…………… 199
(1) 概 要	199
(2) 各個体の観察	200
(3) 小 結	200
第4章 マロ塚古墳出土遺物の歴史的位置	…………… 205
第1節 金属製品の保存状態	古谷 毅…………… 205
1 金属製品における劣化等の考古学的情報	205
2 資料の保存状態	206
(1) 武 具	206
(2) 武 器	207
3 保存状態と出土状態・埋納姿勢	208
第2節 甲冑の組み合わせ	橋本達也…………… 210
第3節 武器類の評価	鈴木一有…………… 212
1 鉄刀にみる優位性	212
2 錫装鉄鏃の意義	214
3 鉄鏃の編年的位置と地域間交流	216
4 有孔月日貝製品の類例と参考資料	218
第4節 マロ塚古墳出土遺物の編年的位置	鈴木一有…………… 221
第5章 まとめ	杉井 健…………… 231
第1節 マロ塚古墳出土遺物の特徴	231
第2節 マロ塚古墳出土遺物がもつ意義と課題	235
第3部 大阪府七観古墳1913年出土遺物の研究	…………… 237
第1章 国立歴史民俗博物館蔵「前田青邨旧蔵武器武具類」と七観古墳出土冑	上野祥史…………… 239
第2章 七観古墳の概要	阪口英毅…………… 245
第1節 古墳の概要	245
1 発掘調査前史	245
2 発掘調査	246
3 墳 丘	247
(1) 墳形・規模	248
(2) 葺 石	248
(3) 埴輪列	248
4 内部施設	249
(1) 第1 槨(西槨)	249
(2) 第2 槨(東槨)	250
(3) 第3 槨	251
5 小 結	252

第2節	出土遺物研究略史		252
1	出土遺物の品目と数		252
2	研究略史		253
	(1) 金銅製帯金具		253
	(2) 馬具		255
	(3) 甲冑		256
3	小結		257
第3章	1913年発見遺物の再検討		261
第1節	末永報告資料の概要	清水和明	261
1	末永報告の内容		261
2	衝角付冑に伴う木箱と箱書		265
第2節	国立歴史民俗博物館所蔵資料	鈴木一有	267
1	武器		267
第3節	大坂城天守閣所蔵資料		271
1	武器	高橋工	271
	(1) 2号冑		271
	(2) 3号冑		275
	(3) 5号冑		278
	(4) その他の武器		282
2	武器	清水和明	286
3	馬具	清水和明	288
4	工具	清水和明	290
第4節	小結	高橋工	291
第4章	1947年・1952年出土遺物の概要	阪口英毅	293
第1節	概要		293
1	品目と数量		293
2	遺存状態		293
第2節	武器の概要		294
1	衝角付冑		294
	(1) 三角板革綴衝角付冑(1号冑)		294
	(2) 革製衝角付冑(2号冑)		296
2	短甲		298
	(1) 長方板革綴短甲(1号短甲)		298
	(2) 三角板平行四辺形板併用革綴短甲(2号短甲)		299
3	付属具		303
	(1) 頸甲		303
	(2) 肩甲		304
第3節	埴輪の概要		305
1	鱗付円筒埴輪		305
2	形象埴輪		306
第4節	編年的位置		307
1	武器		308

2 埴 輪	309
3 小 結	311
第5章 七観古墳 1913年出土遺物の歴史的位	鈴木一有…………… 315
第1節 1913年出土遺物と1947年・1952年出土遺物との関係	315
1 七観古墳 1913年出土遺物の認識	315
2 1947年出土遺物との関係	322
3 小 結	329
第2節 七観古墳 1913年出土遺物の編年的位置づけ	329
1 甲冑の様相からみる七観古墳 1913年出土遺物	329
2 鉄鏃の様相からみる七観古墳 1913年出土遺物	338
3 小 結	340
第6章 まとめ	上野祥史…………… 345
第4部 考 察 ……………	351
第1章 帯金式甲冑の製作技術	古谷 毅…………… 353
第2章 熊本地域出土鉾留短甲の検討—編年的位置付けと配布の背景—	西嶋剛広…………… 381
第3章 東アジアにおける眉庇付冑の系譜	
—マロ塚古墳出土眉庇付冑を中心として—	橋本達也…………… 411
第4章 小札鉾留衝角付冑の変遷とその意義	鈴木一有…………… 435
第5章 線刻鉄鏃の系譜	鈴木一有…………… 457
第6章 帯金式甲冑と鏡の副葬	上野祥史…………… 477
第7章 菊池川流域の古墳	高木恭二…………… 499
第8章 マロ塚古墳出現の背景	杉井 健…………… 541
第5部 古墳時代甲冑研究の現状 ……………	563
第1章 古墳時代甲冑研究のながれ	橋本達也…………… 565
第2章 古墳時代中期甲冑一覧	橋本達也…………… 573
第3章 古墳時代甲冑研究文献一覧	橋本達也…………… 583
第6部 総 括 ……………	609
総 括	杉井 健…………… 611
英文要旨 ……………	617

図 版

奥 付

挿図目次

図1	中国での交流研究会のあとで(2006年8月)	5
図2	京ヶ峰横穴群の靱の前で(2008年2月)	5
図3	マロ塚古墳出土品との対面(2002年11月)	8
図4	九州歴史資料館での調査(2004年12月)	8
図5	韓国慶尚大學校博物館での調査(2005年8月)	9
図6	韓国福泉博物館での調査(2005年8月)	9
図7	韓国福泉博物館での研究会(2005年8月)	10
図8	七観古墳1913年出土遺物の調査(2005年10月)	10
図9	X線画像による製作技法の検討(2006年5月)	11
図10	東京国立博物館での調査(2006年5月)	11
図11	遼寧省文物考古研究所での調査(2006年8月)	12
図12	遼寧省文物考古研究所での研究会(2006年8月)	12
図13	マロ塚古墳出土遺物の実測(2005年5月)	13
図14	歴博第1調査室での研究会(2007年2月)	13
図15	出土遺物集合写真撮影の準備(2007年5月)	14
図16	人吉盆地での古墳調査(2008年2月)	14
図17	研究成果報告会の内容を伝える新聞記事	15
図18	熊本大学での研究成果報告会(2008年2月)	15
図19	研究成果報告会での討論(2008年2月)	15
図20	1968年6月開催の肥後考古学会で報告されたときのマロ塚古墳出土甲冑 (熊本日日新聞社提供)	20
図21	マロ塚古墳位置図	24
図22	東アジアのなかのマロ塚古墳	25
図23	菊池川流域を中心とした遺跡分布図	28-29
図24	菊池川中・上流域と合志川, 井芹川, 坪井川流域の古墳時代遺跡分布図 (番号は表1に対応)	32-33
図25	合志川中流域のおもな古墳時代遺跡分布図	36-37
図26	マロ塚古墳周辺の歴史的環境形成の背景(弥生時代後期~古墳時代前期)	42
図27	マロ塚古墳周辺の歴史的環境形成の背景(古墳時代中期・後期)	43
図28	熊本県内出土の水銀朱関連遺物	45
図29	マロ塚古墳の時期を中心とする熊本県内出土の須恵器	47
図30	製塩土器2例(S=1/4)	49
図31	熊本県内の渡来的様相	50
図32	マロ塚古墳出土遺物の発見を伝える新聞記事	52
図33	「マロ塚」古墳周辺位置図	55
図34	乙益重隆氏による鉄鏃の実測図	58
図35	高熊2号墳の位置	62
図36	高熊2号墳の現状(2002年, 南西から)	62
図37	高熊2号墳測量図	63
図38	掘り起こされた土塊(西から)	64

図39	出土土器片(外面)	64
図40	甲冑名称図	69
図41	甲冑部位名称図	71
図42	マロ塚古墳出土甲冑にみられる製作加工痕跡	76
図43	横矧板鉾留短甲展開模式図(外面)	83
図44	横矧板鉾留短甲正面実測図(外面)	84
図45	横矧板鉾留短甲左側面実測図(外面)	85
図46	横矧板鉾留短甲背面実測図(外面)	86
図47	横矧板鉾留短甲右側面実測図(外面)	87
図48	横矧板鉾留短甲正面実測図(内面)	88
図49	横矧板鉾留短甲左側面実測図(内面)	89
図50	横矧板鉾留短甲背面実測図(内面)	90
図51	横矧板鉾留短甲右側面実測図(内面)	91
図52	横矧板鉾留短甲横断面図	94
図53	変形痕跡(後胴上段地板の亀裂, 外面から)	95
図54	右前胴下段地板腰緒孔	95
図55	覆輪圧着痕(後胴右脇上端部)	96
図56	1号眉庇付冑内面模式図	97
図57	1号眉庇付冑実測図(外面)	99-100
図58	1号眉庇付冑実測図(内面)	101-102
図59	庇部端の形状	105
図60	鍛接して繋いだ葉文	105
図61	眉庇を留める鉾脚(LD8 天地反転)	105
図62	管上端に残存する有機物	106
図63	眉庇下面付着の繊維	106
図64	伏板の鉾頭当具痕	107
図65	胴巻板左側面の花卉状打痕(天地反転)	107
図66	同上拡大	107
図67	腰巻板の線状痕跡(天地反転)	107
図68	庇部下の外面穿孔の鋸付孔(天地反転)	108
図69	1号鋸板金部分名称図	111
図70	1号鋸実測図(第1・2段板)	112
図71	1号鋸実測図(第3・4段板)	113
図72	1号鋸実測図(第5段板・袖鋸)	114
図73	1号鋸板金横断面図	115
図74	1号鋸細部	117
図75	2号眉庇付冑内面模式	123
図76	2号眉庇付冑実測図(外面)	124
図77	2号眉庇付冑実測図(内面)	125
図78	鉾頭当具痕と浮き上がる庇折り返し部	127
図79	管の合わせ目	128
図80	2号鋸板金部分名称図	132

図81	2号鋨実測図	133
図82	2号鋨板金横断面図	134
図83	2号鋨細部	135
図84	胄と鋨の連結(左:1号眉庇付胄と1号鋨, 右:2号眉庇付胄と2号鋨)	136
図85	衝角付胄内面模式図	138
図86	変形した鋨脚(RU1, 天地反転)	139
図87	衝角付胄実測図(外面)	140
図88	衝角付胄実測図(内面)	141
図89	左後部詳細(LU13~15)	143
図90	衝角部先端内面(RU1, 天地反転)	143
図91	内面に付着する繊維(LD9, 天地反転)	144
図92	切断工具痕(RD9, 天地反転)	144
図93	未使用孔の大きさの違い(RD17~19)	145
図94	右側衝角部の鋨脚(天地反転)	146
図95	組立工程の推定根拠	146
図96	マロ塚古墳出土衝角付胄の組立工程	147
図97	頸甲部位名称図	149
図98	頸甲基本計測部位図	151
図99	1号頸甲実測図(右本体板)	154
図100	1号頸甲実測図(左本体板)	155
図101	2号頸甲実測図(右本体板, 前面・後面引合板)	160
図102	2号頸甲実測図(左本体板)	161
図103	2号頸甲装着状態復元図	162
図104	3号頸甲実測図(右本体板, 前面引合板)	168
図105	3号頸甲実測図(左本体板, 後面引合板)	169
図106	3号頸甲装着状態復元図	170
図107	3号頸甲細部	171
図108	3号頸甲板金の展開状態想定図	173
図109	肩甲実測図	179
図110	肩甲細部(1)	180
図111	肩甲細部(2)	181
図112	鉄刀3の遺存状態	183
図113	鉄刀5の表面にみられる擦痕	183
図114	鉄刀実測図(1)	184
図115	鉄刀実測図(2)	185
図116	鉄刀4の巻紐	186
図117	鉄鋒実測図	188
図118	独立片逆刺長頸鋨の鎬・稜線	190
図119	独立片逆刺長頸鋨模式図	191
図120	長頸鋨実測図(1)	192
図121	長頸鋨実測図(2)	193
図122	長頸鋨実測図(3)	194

図 123	逆刺詳細(1)(4表面)	195
図 124	逆刺詳細(2)(2裏面)	195
図 125	鍬表面の擦痕(2裏面)	195
図 126	平根鍬実測図	196
図 127	圭頭鍬(2)の線刻	197
図 128	独立片逆刺長頸鍬製作工程案	198
図 129	ツキヒガイ(表面)	199
図 130	ツキヒガイ(裏面)	199
図 131	貝製品実測図	200
図 132	茎元挟りの鉄刀	213
図 133	銀装鉄鉾と関連資料	215
図 134	独立片逆刺鉄鍬の諸例	217
図 135	透孔鉄鍬と線刻鉄鍬	218
図 136	有孔月日貝製品の諸例	219
図 137	月日貝形石製品および巴形石製品の諸例	220
図 138	有孔月日貝製品装着状況関連資料	220
図 139	マロ塚古墳出土遺物集成	222
図 140	マロ塚古墳出土遺物の編年的位置	223
図 141	マロ塚古墳出土甲冑の組み合わせ案	225
図 142	前田青邨写生帖	240
図 143	七観古墳と上石津ミサンザイ古墳の位置関係	245
図 144	七観古墳墳丘測量図	247
図 145	方形埴輪列と内部施設の配置	248
図 146	第1 榔(西榔)実測図	249
図 147	第2 榔(東榔)実測図	250
図 148	第3 榔実測図	251
図 149	木心鉄板張輪鍙実測図	256
図 150	三環鈴・環板轡実測図	256
図 151	衝角付冑実測図	257
図 152	七観古墳 末永報告資料(武具・武器・工具)	264
図 153	七観古墳 末永報告資料(馬具)	265
図 154	七観古墳 末永報告資料に伴う木箱の箱書	266
図 155	1号冑(外面)	268
図 156	1号冑(内面)	269
図 157	1号冑内面模式図	270
図 158	2号冑(外面)	272
図 159	2号冑(内面)	273
図 160	2号冑内面模式図	274
図 161	3号冑(外面)	276
図 162	3号冑(内面)	277
図 163	3号冑内面模式図	278
図 164	5号冑(外面)	280

図165	5号冑(内面)	281
図166	短甲(1)	283
図167	短甲(2)	284
図168	頸甲・肩甲	286
図169	刀劍類	287
図170	鉄鍬	288
図171	馬具	289
図172	工具	290
図173	鍬模式図	291
図174	三角板革綴衝角付冑	294
図175	三角板革綴衝角付冑実測図	295
図176	革製衝角付冑(1)	296
図177	革製衝角付冑細板実測図	296
図178	革製衝角付冑(2)	297
図179	革製衝角付冑三尾鉄 X 線画像	297
図180	長方板革綴短甲	298
図181	長方板革綴短甲遺存状態・鉄板構成模式図	298
図182	三角板平行四辺形板併用革綴短甲(1)	299
図183	三角板平行四辺形板併用革綴短甲(2)	300
図184	三角板平行四辺形板併用革綴短甲(3)	300
図185	三角板平行四辺形板併用革綴短甲・頸甲・肩甲実測図	301
図186	三角板平行四辺形板併用革綴短甲遺存状態・鉄板構成模式図	302
図187	2号頸甲	304
図188	鱗付円筒埴輪・甲冑形埴輪実測図	306
図189	家形埴輪・靱形埴輪・甲冑形埴輪実測図	307
図190	関西大学博物館収蔵資料	317
図191	推定襟付短甲破片	320
図192	七観古墳1913年出土衝角付冑	322
図193	七観古墳衝角付冑内面模式図	323
図194	鋸断面比較図	324
図195	七観古墳出土鳥舌鍬比較図	327
図196	墳頂部施設想定図	328
図197	三角板革綴衝角付冑の諸例	330
図198	竪矧板衝角付冑の諸例	332
図199	衝角付冑系統図	333
図200	中期中葉の鉄鍬組成	339

表目次

表1	菊池川中・上流域と合志川, 井芹川, 坪井川流域の古墳時代遺跡一覧表 (番号は図 24 に対応)	34
表2	鍛造製品の観察項目とそれに関わる製作加工技術・技法・痕跡・工具等	75
表3	本報告で用いた製作加工痕跡の名称とその内容	77
表4	1号鍛各板金の大きさ	116
表5	1号鍛威孔の位置関係	116
表6	2号鍛各板金の大きさ	134
表7	2号鍛威孔の位置関係	134
表8	頸甲装着状態の復元値	157
表9	頸甲本体板各部位の計測値	157
表10	頸甲引合板各部位の計測値	157
表11	肩甲各部位の計測値	182
表12	頸甲の肩甲付孔位置関係	182
表13	長頸鎌各部位の計測値	195
表14	前田青邨写生帖画題一覧	242-243
表15	七観古墳 1947年・1952年出土遺物一覧	254-255
表16	七観古墳末永報告資料対照表	262-263
表17	七観古墳出土衝角付冑対応表	319
表18	七観古墳 1913年出土短甲破片対応表(大阪城天守閣所蔵分)	320
表19	七観古墳出土短甲対応表	321
表20	七観古墳出土三角板革綴衝角付冑観察表	323
表21	七観古墳出土鍛観察表	324
表22	三角板衝角付冑一覧	331
表23	2段構成鍛一覧表	335
表24	革綴・鋌留甲冑混在例	337
表25	現存する七観古墳出土武器・武具・工具一覧	349

図版目次

巻頭図版

- 1 ……マロ塚古墳出土遺物
- 2 ……七観古墳 1913 年発見遺物
(大阪城天守閣蔵)
- 3 ……マロ塚古墳出土土甲冑
- 4 ……マロ塚古墳出土 1 号眉庇付冑・鍔
- 5 ……マロ塚古墳出土 2 号眉庇付冑・鍔
- 6 ……マロ塚古墳出土鉄鎌(1)
- 7 ……マロ塚古墳出土鉄鎌(2)
- 8 ……マロ塚古墳出土鉄鉾・鉄剣

図版

マロ塚古墳

- 1 ……短甲(1)
- 2 ……短甲(2)
- 3 ……1 短甲(正面)
2 短甲(背面)
- 4 ……1 短甲(左側面)
2 短甲(右側面)
3 短甲(俯瞰)
- 5 ……1 短甲内面(後胴上半)
2 短甲内面(後胴下半)
- 6 ……1 短甲内面(左前胴上半)
2 短甲内面(左前胴下半)
- 7 ……1 短甲内面(右前胴上半)
2 短甲内面(右前胴下半)
- 8 ……蝶番詳細
 - 1. 後胴
 - 2. 右前胴
 - 3. 蝶番金具に挟まれる有機物
(右前胴上部)
 - 4. 蝶番金具に挟まれる有機物
(右前胴下部)
- 9 ……1 覆輪圧着痕
 - 1. 後胴右脇
 - 2. 押付板左側
 - 3. 押付板右側
 - 4. 左堅上板
 - 5. 右堅上板
- 2 覆輪(後胴右脇上端)
- 3 覆輪縁辺孔
 - 1. 左堅上板
 - 2. 右堅上板
- 10 ……ワタガミ詳細
 - 1. 右前胴の付着状態
 - 2. 左前胴の付着状態
 - 3. 左前胴内面に遺存する革紐
 - 4. 繊維拡大(右前胴下)
 - 5. 繊維拡大(右前胴中段帯金)
- 11 ……製作加工痕
 - 1. 面取り(右前胴下段帯金外面)
 - 2. 面取り(右前胴中・下段地板内面)
 - 3. 鉄板端部の歪み
(後胴中・下段地板内面)
 - 4. 鉄板端部の打付痕
(右前胴下段地板内面)
 - 5. ワタガミ懸緒孔(後胴右側内面)
 - 6. 裾板左右孔(右前胴外面)
 - 7. 裾板左右孔(左前胴外面)
- 12 ……鍔詳細(1~4:外面, 5~8:内面)
 - 1. 右前胴下段帯金第 5 鍔
 - 2. 左前胴引合板第 7 鍔
 - 3. 右前胴引合板第 2 鍔
 - 4. 後胴押付板第 5 鍔
 - 5. 右前胴下段帯金第 3 鍔
 - 6. 右前胴堅上板第 4 鍔
 - 7. 右前胴下段帯金第 5 鍔
 - 8. 右前胴裾板第 1 鍔
- 13 ……1 号眉庇付冑
- 14 ……1 1 号眉庇付冑(正面)
2 1 号眉庇付冑(背面)
- 15 ……1 1 号眉庇付冑(左側面)
2 1 号眉庇付冑(右側面)
- 16 ……1 1 号眉庇付冑(上面)
2 1 号眉庇付冑(内面)
- 17 ……1 外面詳細(上段地板)
2 外面詳細(下段地板)
- 18 ……上段地板内面詳細
 - 1. 前額部
 - 2. 後頭部
 - 3. 左側面
 - 4. 右側面
- 19 ……下段地板内面詳細
 - 1. 前額部

	2. 後頭部		4. 右側面
	3. 左側面	33	……………下段地板内面詳細
	4. 右側面		1. 前額部
20	……1 頂部装飾(受鉢・管・伏鉢)		2. 後頭部
	1. 全形		3. 左側面
	2. 上面		4. 右側面
	3. 内面	34	……………頂部装飾(管)
	2 胴巻板の重ね		1. 全形
	3 腰巻板の重ね		2. 上面
21	……………眉庇詳細		3. 内面
	1. 透彫詳細(上面)	35	……1 眉庇詳細
	2. 透彫詳細(下面)		1. 上面
	3. 透彫端面		2. 下面
	4. 眉庇接合端部		3. 眉庇接合端部(左側面)
	5. 眉庇折り返し部のワレ		4. 眉庇接合端部(右側面)
	6. 前額部腰巻板下端の折り返し	2	胴巻板の重ね
22	……1 1号眉庇付胄と1号鋳の組合せ(正面)		1. 左側面
	2 1号眉庇付胄と1号鋳の組合せ(背面)		2. 右側面
23	……1 1号眉庇付胄と1号鋳の組合せ(左側面)	36	……1 2号眉庇付胄と2号鋳の組合せ(正面)
	2 1号眉庇付胄と1号鋳の組合せ(右側面)		2 2号眉庇付胄と2号鋳の組合せ(背面)
24	……1 1号鋳(第1段板)	37	……1 2号眉庇付胄と2号鋳の組合せ(左側面)
	2 1号鋳(第2段板)		2 2号眉庇付胄と2号鋳の組合せ(右側面)
25	……1 1号鋳(第3段板)	38	……1 2号鋳(第1段板)
	2 1号鋳(第4段板)		2 2号鋳(第2段板)
26	……1 1号鋳(第5段板)	39	……………衝角付胄
	2 袖鋳接合部	40	……1 衝角付胄(正面)
	1. 右前縁		2 衝角付胄(背面)
	2. 右袖鋳後端	41	……1 衝角付胄(左側面)
	3 面取りの比較(左前縁)		2 衝角付胄(右側面)
	1. 第1段板	42	……1 衝角付胄(上面)
	2. 第2段板		2 衝角付胄(内面)
27	……………2号眉庇付胄	43	……1 外面詳細(左側面)
28	……1 2号眉庇付胄(正面)		2 内面詳細(右側面)
	2 2号眉庇付胄(背面)	44	……………上段地板内面詳細
29	……1 2号眉庇付胄(左側面)		1. 左側面
	2 2号眉庇付胄(右側面)		2. 後頭部
30	……1 2号眉庇付胄(上面)		3. 右側面
	2 2号眉庇付胄(内面)	45	……………下段地板内面詳細
31	……1 外面詳細(上段地板)		1. 左側面
	2 外面詳細(下段地板)		2. 後頭部
32	……………上段地板内面詳細		3. 右側面
	1. 前額部	46	……1 衝角底板
	2. 後頭部		2 衝角底板接合部
	3. 左側面		1. 左側面(外面)

	2.	右側面(外面)
	3.	左側面(内面)
	4.	右側面(内面)
471	1号頸甲
481	1号頸甲(前面)
	2	1号頸甲(後面)
491	1号頸甲(上面)
	2	1号頸甲(内面)
501	1号頸甲(右側面)
	2	1号頸甲(右板内側面)
511	1号頸甲(左側面)
	2	1号頸甲(左板内側面)
521	1号頸甲(左板前面裏)
	2	1号頸甲(右板前面裏)
	3	1号頸甲(右板後面裏)
	4	1号頸甲(左板後面裏)
532	2号頸甲
541	2号頸甲(前面)
	2	2号頸甲(後面)
551	2号頸甲(上面)
	2	2号頸甲(内面)
561	2号頸甲(右側面)
	2	2号頸甲(右板内側面)
571	2号頸甲(左側面)
	2	2号頸甲(左板内側面)
581	2号頸甲(左板前面裏)
	2	2号頸甲(右板前面裏)
	3	2号頸甲(右板後面裏)
	4	2号頸甲(左板後面裏)
593	3号頸甲
601	3号頸甲(前面)
	2	3号頸甲(後面)
611	3号頸甲(上面)
	2	3号頸甲(内面)
621	3号頸甲(右側面)
	2	3号頸甲(右板内側面)
631	3号頸甲(左側面)
	2	3号頸甲(左板内側面)
641	3号頸甲(左板前面裏)
	2	3号頸甲(右板前面裏)
	3	3号頸甲(右板後面裏)
	4	3号頸甲(左板後面裏)
65	頸甲詳細(1)
	1.	2号頸甲引合受金具(外面)

	2.	2号頸甲引合受金具(内面)
	3.	3号頸甲引合受金具(外面)
	4.	3号頸甲引合受金具(内面)
	5.	2号頸甲襟部
	6.	3号頸甲襟部
	7.	1号頸甲右本体板肩甲威孔 (第2列)
	8.	2号頸甲右本体板肩甲威孔 (第2列)
	9.	3号頸甲右本体板肩甲威孔 (第2列)
66	頸甲詳細(2)
	1.	3号頸甲前面引合板第1鉾
	2.	3号頸甲後面引合板第1鉾
	3.	3号頸甲後面引合板第1鉾内面 (鉾脚打当痕)
	4.	3号頸甲前面引合板第3鉾内面 (板金縁部の亀裂)
	5.	3号頸甲右本体板肩部切断工具痕
	6.	3号頸甲右本体板肩部穿孔工具痕
	7.	1号頸甲左本体板襟部亀裂
	8.	2号頸甲後面引合板亀裂
671	肩甲(外面)
	2	肩甲(内面)
68	鉄刀(1)
69	鉄刀(2)
70	独立片逆刺長頸鎌(表面)
71	独立片逆刺長頸鎌(裏面)
72	鉄鎌(表面)
73	鉄鎌(裏面)
741	鉄鉾・鉄劍(1)
	2	鉄鉾・鉄劍(2)
751	甲冑他細片
	2	鉄鉾細片
761	有孔月日貝製品(表面)
	2	有孔月日貝製品(裏面)
77	短甲 X 線画像(1)(すべて内面から)
	1.	後胴右上部
	2.	後胴左上部
	3.	右前胴上部
	4.	右前胴下部
78	短甲 X 線画像(2)
	(1~3, 5:	内面から 4:外面から)
	1.	左脇上部

- 2. 左脇下部
- 3. 後胴右下部
- 4. 左前胴
- 5. 右前胴蝶番
- 79 ……1 号眉庇付冑 X 線画像 (1) (上面から)
- 80 ……1 号眉庇付冑 X 線画像 (2)
(すべて内面から)
 - 1. 前額部
 - 2. 後頭部
 - 3. 左側面
 - 4. 右側面
- 81 ……1 号鋨 X 線画像 (すべて内面から)
 - 1. 左側面
 - 2. 右側面
- 82 ……2 号眉庇付冑 X 線画像 (1) (上面から)
- 83 ……2 号眉庇付冑 X 線画像 (2)
(すべて内面から)
 - 1. 前額部
 - 2. 後頭部
 - 3. 左側面
 - 4. 右側面
- 84 ……2 号鋨 X 線画像 (すべて内面から)
 - 1. 左側面
 - 2. 右側面
- 85 ……衝角付冑 X 線画像 (1) (上面から)
- 86 ……衝角付冑 X 線画像 (2)
(すべて内面から)
 - 1. 衝角部
 - 2. 後頭部
 - 3. 左側面
 - 4. 右側面
- 87 ……1 号頸甲 X 線画像
(1~3:内面から, 4・5:外面から)
 - 1. 前面
 - 2. 後面
 - 3. 肩部
 - 4. 左襟
 - 5. 右襟
- 88 ……2 号頸甲 X 線画像
(1~3:内面から, 4・5:外面から)
 - 1. 前面
 - 2. 後面
 - 3. 肩部
 - 4. 左襟

- 5. 右襟
- 89 ……3 号頸甲 X 線画像
(1~3:内面から, 4・5:外面から)
 - 1. 前面
 - 2. 後面
 - 3. 肩部
 - 4. 左襟
 - 5. 右襟
- 90 ……1 号肩甲 X 線画像 (内面から)
 - 2 鉄刀 X 線画像
- 91 ……1 号鉄鏃 X 線画像 (1)
 - 2 鉄鏃 X 線画像 (2)
 - 3 鉄鏃線刻詳細 X 線透過像
- 92 ……1 号鉄鉾・鉄剣 X 線画像
 - 2 その他鉄器 X 線画像

七観古墳

- 93 ……1 号衝角付冑
- 94 ……1 号衝角付冑 (正面)
 - 2 1 号衝角付冑 (背面)
- 95 ……1 号衝角付冑 (左側面)
 - 2 1 号衝角付冑 (右側面)
- 96 ……1 号衝角付冑 (上面)
 - 2 1 号衝角付冑 (内面)
- 97 ……1 号衝角付冑詳細
 - 1. 衝角部内面
 - 2. 頂部内面
 - 3. 下段地板内面 (右前側面)
 - 4. 下段地板内面 (右側面)
 - 5. 上段地板内面 (右側面)
 - 6. 鋨右前縁
- 98 ……1 号衝角付冑箱書
 - 2 1 号衝角付冑収蔵状況
- 99 ……2 号衝角付冑
- 100 ……1 号 2 号衝角付冑 (正面)
 - 2 2 号衝角付冑 (背面)
- 101 ……1 号 2 号衝角付冑 (左側面)
 - 2 2 号衝角付冑 (右側面)
- 102 ……1 号 2 号衝角付冑 (上面)
 - 2 2 号衝角付冑 (内面)
- 103 ……2 号衝角付冑詳細
 - 1. 衝角部内面
 - 2. 頂部内面
 - 3. 右衝角部内面

	4. 鍔外面(後頭部)		3. 押付板(55)外面
	5. 覆輪(外面)		4. 押付板(55)内面
	6. 覆輪(内面)		5. 押付板(30・46)外面
104	……1 2号衝角付冑箱書		6. 押付板(30・46)内面
	2 2号衝角付冑収蔵状況		7. 押付板(57・58)外面
105	……3号衝角付冑		8. 押付板(57・58)内面
106	……1 3号衝角付冑(正面)	123	……1 頸甲・肩甲(外面)
	2 3号衝角付冑(背面)		2 頸甲・肩甲(内面)
107	……1 3号衝角付冑(左側面)	124	……1 鉄刀・鉄剣(1)
	2 3号衝角付冑(右側面)		2 鉄刀・鉄剣(2)
108	……1 3号衝角付冑(上面)	125	……1 鉄鏃
	2 3号衝角付冑(内面)		2 鉄斧・鉈
109	……3号衝角付冑詳細	126	……1 轡
	1. 衝角部内面		2 鞍・兵庫鎖
	2. 上段地板内面(後頭部)	127	……1号衝角付冑 X 線画像(1)
	3. 覆輪(内面)		(上面から)
	4. 頂部内面	128	……1号衝角付冑 X 線画像(2)
	5. 頂部外面		(すべて内面から)
110	……1 3号衝角付冑箱書		1. 衝角部
	2 3号衝角付冑収蔵状況		2. 後頭部
111	……5号衝角付冑		3. 左側面
112	……1 5号衝角付冑(正面)		4. 右側面
	2 5号衝角付冑(背面)	129	……2号衝角付冑 X 線画像(上面から)
113	……1 5号衝角付冑(左側面)	130	……3号衝角付冑 X 線画像(上面から)
	2 5号衝角付冑(右側面)	131	……5号衝角付冑 X 線画像(上面から)
114	……1 5号衝角付冑(上面)	132	……短甲 X 線画像(外面から)
	2 5号衝角付冑(内面)	133	……短甲・頸甲 X 線画像(外面から)
115	……5号衝角付冑詳細(1)	134	……1 鉄鏃 X 線画像
	1. 衝角部内面		2 鉈 X 線画像
	2. 頂部内面		3 鉄刀 X 線画像(1)
	3. 左後頭部内面		4 鉄刀 X 線画像(2)
116	……5号衝角付冑詳細(2)		
	1. 衝角底板		
	2. 三尾鉄		
	3. 鋌頭の状況		
117	……1 5号衝角付冑箱書		
	2 5号衝角付冑収蔵状況		
118	……短甲押付板(外面)		
119	……短甲押付板(内面)		
120	……短甲細片(外面)		
121	……短甲細片(内面)		
122	……短甲覆輪詳細		
	1. 押付板(50)外面		
	2. 押付板(50)内面		

第4部 考 察

第6部
総括

Bulletin of the National Museum of Japanese History Vol.173
 Study of Arms and Armor in Middle-Period Tumuli :
 An Initial Research Based on Artifacts from the *Marozuka* Tomb

Contents:

Color Photographs

Introductory Remarks

Part 1 : Overview of the Research	1
Chapter 1 Purpose of the Research	SUGII Takeshi..... 3
Chapter 2 Participants of the Research	SUGII Takeshi..... 5
Chapter 3 Research Process	SUGII Takeshi..... 7
Part 2 : Research on the Artifacts Recovered from the <i>Marozuka</i> Tomb	17
Chapter 1 Background of the Artifacts Stored in the National Museum of Japanese History	SUGII Takeshi..... 19
Chapter 2 Environment and Geographical Condition around the <i>Marozuka</i> Tomb	NAKAHARA Mikihiro, SUGII Takeshi..... 23
Chapter 3 Archaeological Research on the Artifacts Excavated from the <i>Marozuka</i> Tomb	HASHIMOTO Tatsuya, FURUYA Takeshi, NISHIJIMA Takahiro, SUGII Takeshi, SUZUKI Kazunao, UENO Yoshifumi..... 69
Chapter 4 Historical Review of the Artifacts Recovered from the <i>Marozuka</i> Tomb	FURUYA Takeshi, HASHIMOTO Tatsuya, SUZUKI Kazunao.....205
Chapter 5 Summary	SUGII Takeshi.....231
Part 3 : Research on the Artifacts Recovered from the <i>Shichikan</i> Tomb in 1913	237
Chapter 1 Research on the <i>Maeda Seison's</i> Ancient Weapons Collection Stored in the National Museum of Japanese History and the Ancient Helmet Recovered from the <i>Shichikan</i> Tomb in 1913	UENO Yoshifumi.....239
Chapter 2 Overview of the <i>Shichikan</i> Tomb	SAKAGUCHI Hideki.....245
Chapter 3 Research on the Artifacts Recovered from the <i>Shichikan</i> Tomb in 1913	SHIMIZU Kazuaki, SUZUKI Kazunao, TAKAHASHI Takumi.....261
Chapter 4 Overview of the Artifacts Recovered from the <i>Shichikan</i> Tomb in 1947 and 1952	SAKAGUCHI Hideki.....293
Chapter 5 Historical Review of the Artifacts Recovered from the <i>Shichikan</i> Tomb in 1913	SUZUKI Kazunao.....315
Chapter 6 Summary	UENO Yoshifumi.....345
Part 4 : Articles	351
Chapter 1 The Manufacturing Technology of <i>Obigane-shiki</i> Armor	FURUYA Takeshi.....353
Chapter 2 A Study of <i>Byōdome Tankō</i> Armor Unearthed in Kumamoto : Chronological Placement and Distribution	NISHIJIMA Takahiro.....381

Chapter 3	The Lineage of <i>Mabisashi-tsuki</i> Helmets, with a Focus on the <i>Mabisashi-tsuki</i> Helmets of the <i>Marozuka</i> Tomb	HASHIMOTO Tatsuya	411
Chapter 4	Transitions in <i>Kozane Byōdome Shōkaku-tsuki</i> Helmets and Their Significance	SUZUKI Kazunao	435
Chapter 5	The Lineage of Line-Engraved Iron Arrowheads	SUZUKI Kazunao	457
Chapter 6	<i>Obigane-shiki</i> Armor and Mirrors as Grave Goods	UENO Yoshifumi	477
Chapter 7	The Tumuli of the Kikuchi River Watershed	TAKAKI Kyouji	499
Chapter 8	The Background to the Appearance of the <i>Marozuka</i> Tomb	SUGII Takeshi	541
Part 5	: Review of Studies on Ancient Armors in the Kofun Period		563
Chapter 1	Review of Studies on Ancient Armors in the Kofun Period	HASHIMOTO Tatsuya	565
Chapter 2	Inventory of Ancient Armors of the Middle Kofun Period	HASHIMOTO Tatsuya	573
Chapter 3	Bibliography of Literatures about Ancient Armors of the Kofun Period	HASHIMOTO Tatsuya	583
Part 6	: Overview		609
	Overview	SUGII Takeshi	611
English Abstract			617
Monochrome Photographs			

圖 版

【国立歴史民俗博物館研究報告編集委員会】

館外委員（五十音順）

今村 峯雄 国立歴史民俗博物館名誉教授

小島 孝夫 成城大学文芸学部

小林 謙一 中央大学文学部

高木 博志 京都大学人文科学研究所

館内委員

大久保純一 情報資料研究系

小倉 慈司 歴史研究系

小池 淳一 民俗研究系

広瀬 和雄 考古研究系（編集委員長）

藤尾慎一郎 考古研究系（研究推進センター長）

国立歴史民俗博物館研究報告 第173集
[共同研究] マロ塚古墳出土品を中心にした古墳時代中期武器武具の研究
杉井 健・上野祥史 編

●
平成24年（2012）3月30日 第1版第1刷発行

（非売品）

発行所

●
大学共同利用機関法人
人間文化研究機構

国立歴史民俗博物館

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117 ☎043-486-0123（代）

印刷・製本所

●
シモダ印刷株式会社

〒862-0951 熊本市中央区上水前寺2丁目16-16 ☎096-383-5512（代）

〔装丁〕 中山銀士

Bulletin of the National Museum of Japanese History

Collaborative Research :
**Study of Arms and Armor in Middle-Period Tumuli :
An Initial Research Based on Artifacts from the *Marozuka* Tomb**
Edited by SUGII Takeshi and UENO Yoshifumi

Part I . Overview of the Research

Part II . Research on the Artifacts Recovered from the *Marozuka* Tomb

Part III . Research on the Artifacts Recovered from the *Shichikan* Tomb in 1913

Part IV . Articles

Chapter 1

The Manufacturing Technology of *Obigane-shiki* Armor
FURUYA Takeshi

Chapter 2

A Study of *Byōdome Tankō* Armor Unearthed in Kumamoto :
Chronological Placement and Distribution
NISHIJIMA Takahiro

Chapter 3

The Lineage of *Mabisashi-tsuki* Helmets, with a Focus on
the *Mabisashi-tsuki* Helmets of the *Marozuka* Tomb
HASHIMOTO Tatsuya

Chapter 4

Transitions in *Kozane Byōdome Shōkaku-tsuki* Helmets
and Their Significance
SUZUKI Kazunao

Chapter 5

The Lineage of Line-Engraved Iron Arrowheads
SUZUKI Kazunao

Chapter 6

Obigane-shiki Armor and Mirrors as Grave Goods
UENO Yoshifumi

Chapter 7

The Tumuli of the Kikuchi River Watershed
TAKAKI Kyouji

Chapter 8

The Background to the Appearance of the *Marozuka* Tomb
SUGII Takeshi

Part V . Review of Studies on Ancient Armors in the Kofun Period

Part VI . Overview



ISSN 0286-7400

vol.173
2012